

## 「すぎチャリ! 2017」ボランティア募集! 説明会開催のお知らせ

11/26開催!  
NPOから  
地域を面白く!

すぎなみチャリティー・フェスタ(通称:すぎチャリ)は、チャリティーの普及と地域活動の活性化を目的とし、杉並区NPO支援基金普及委員会が開催するイベントです。詳しくは下記QRからどうぞ。今年もボランティアを募集します。ぜひご応募ください。

### ★ボランティア募集★

#### <当日ボランティア>

- ◆内容: イベント受付や誘導、会場案内など
- ◆日時: 11/26(日) 10:00~15:00  
(集合9:30、解散15:30予定)

#### <設営ボランティア>

- ◆内容: 会場の装飾や机の配置などの設営
- ◆日時: 前日設営 11/25(土) 18:00~20:00  
当日設営 11/26(日) 9:00~10:00

- ◆申込: sugichari@nposupport.jpまで  
氏名、連絡先(メール・当日連絡のつく電話番号)、当日のご都合(終日可、何時~何時希望など)、参加可能なボランティア説明会の日程をご連絡ください。

### ★ボランティア説明会★

すぎチャリボランティアに応募される方への説明会です。各回の内容は同じですので、ご都合のつく回にご参加ください。

- ◆第1回: 10/26(木) 18:30~19:30
- ◆第2回: 10/28(土) 13:30~14:30

#### <すぎチャリ概要>

- ◆開催日時: 11/26(日) 10:00~15:00
- ◆会場: 阿佐谷地域区民センター全館  
(最寄り駅: JR中央線・総武線阿佐ヶ谷駅 徒歩3分)
- ◆ホームページ: <http://nposupport.jp/sugichari>
- ◆杉並区NPO支援基金普及委員会Facebook  
<https://www.facebook.com/suginpokikin>
- ◆問い合わせ: すぎなみ協働プラザ すぎチャリ担当  
sugichari@nposupport.jp



## 交流コーナー・展示スケジュール

### チラシで知るケア24の活動

- ◆期間  
9月25日(月)~10月27日(金)  
10:00~18:00(最終日~16:00)  
休館: 日曜日・火曜日・第3水曜日  
入場無料



「ケア24」という名前を聞いたことがあっても、実際に何をしているのかわからない...という人が少なくありません。そこで、ケア24の仕事チラシやお便りを通して知っていただくという企画展示です。20カ所のお便りが一堂に会することはなかなかありません。阿佐谷にお越しの際は是非交流コーナーにお立ち寄りください。

### ちいさいかわいいものとコダルマ展2 ~和~

- ◆期間  
11月1日(水)~12月1日(金)  
10:00~18:00(最終日~16:00)  
休館: 日曜日・火曜日・第3水曜日  
入場無料



宮地淑江・村上世里子の2人展。和をテーマにコダルマや編みぐるみの立体作品や写真等を展示します。さわってあそべる楽しい・かわいい展示です。

11/26開催  
「すぎチャリ!」でも  
展示します!

### リレーコラム 茶もっこ

「茶もっこ」とは?  
新潟県・松代地方の言葉で、通りすがりの人でも軒先に招き、もてなすお茶の意味。

#### ご相談にのります

私は若いころから人の相談に乗る業務に就いてきました。建設会社の事務職として人事部では財形や住宅融資制度などの利用方法の相談。法務部では債権の回収や弁護士さんにつなぐ相談。経営企画室時代はグループ各社のさまざまな問題解決のための相談。中小企業診断士として独立してからは中小企業の社長さんからの相談。そして協働プラザの窓口相談。立場や相談の中身は変わりましたが、いつも心がけて来たのは、せっかくな相談に来られたのだから表面的な説明だけでなく後で役立つプラスαの情報を提供すること。

プラザでは以前に比べ団体の今後は左右するような重要な相談が増えています。そうした相談に対してもなるべく役に立つ助言やプラスαの情報提供で一層お役に立ちたいと思っています。(阿波睦夫)



## すぎなみ協働プラザ

<http://www.sugi-chiiki.com/nposupport>

〒166-0004 阿佐谷南1-47-17 阿佐谷地域区民センター4階  
TEL: 03-3314-7260 FAX: 03-3314-7265  
E-mail: info@nposupport.jp

- 開館日: 月/水~土曜日 午前10時~午後6時
- 休館日: 日・火曜日、第3水曜日、年末年始(12/28~1/4)
- アクセス  
・JR中央線・総武線「阿佐ヶ谷駅」より徒歩2分  
・東京メトロ丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」より徒歩7分  
※自転車でお越しの方は中庭駐輪場をご利用ください。  
※駐車場はありません。



「すぎなみ協働プラザ」は、杉並区からの事業委託により「NPO法人CBすぎなみプラス」が運営しています。

# CAMP

AUTUMN  
**秋**  
2017年10月発行



## 音楽で盛り上げる

- ### 今月のLine up
- ・特集: おやじたちの地域バンド
  - ・すぎチャリ! 2017ボランティア募集
  - ・交流コーナー、展示スケジュール

写真: 三谷小の「三谷祭」で演奏するSIPPS



# ♪ 音楽で盛り上げる ♪

地域イベントに欠かせないもの…それは音楽です。人々の感性に直接訴える力があり、地域のお祭りを、イベントを盛り上げます。高円寺阿波おどり、阿佐谷ジャズストリート、荻窪音楽祭などはすっかりおなじみのイベントになっていますが、本号では地道に活動している地域密着型の音楽グループや活動拠点を紹介します。



## おやじの会から生まれた地域バンド「SIPPS」

おやじバンドといえば、学生時代にフォークやロックのグループを結成し、在職時代は活動を休止して退職後に再スタートする…というのが一般的。ところが、最近では在職中にグループを結成し、息長く地域で音楽活動を続けているおやじバンドが出現しています。井草地域を中心に活発な演奏活動を続けているSIPPS(シップス、San-ya Igusa Parents' Players)はその「代表選手」。2016年11月で結成10年を迎えましたが、その活動はますます盛んです。

### 異業種で編成、J-POPなど幅広く

SIPPSは三谷小学校と井草中学校のおやじの会6人で結成されたバンドで、2006年の三谷小学校設立50周年祝賀会で出演したのが初ステージでした。「おやじの会の付き合いの中に、たまたま音楽という“共通言語”があったのがきっかけ」と明かすのは自称“にぎやかシスト”の鈴木雅也さん(52)。公務員、メーカー社員、俳優など異業種の集まりで、「その会話が新鮮で面白かった」と言います。

現在のレギュラーメンバーは12人ですが、助っ人を加えると演奏者は20人を超えるとか。ピアノ、キーボード、ギター、ベース、ドラム、サクソなどの楽器とボーカルの編成で、ジャンルにこだわらず1960年代以降の歌謡曲やJ-POP、洋楽にフォーク、オリジナル曲と幅広く演奏しています。レパートリーは110曲超に上り、オリジナルも10曲を数えます。最後に演奏することが多いオリジナル曲「ごえん(ご縁)」はなかなかの評判。

### 井草地域にこだわりたい

このバンドの特徴は地域の主要イベントでは“常連”になっていること。恒例の「花と緑の井草祭り」、井草中学の各種行事、上井草保健センターのイベント、桃井原っぱ広場でのふるさと祭り、西荻・荻窪地域区民センターの祭りなどに数多く出演しており、今や地域のイベントには欠かせない存在。その名前は井草地域にとどまらず広く知られています。それでも、モットーはメンバーの石黒康さん(56)が提唱した「あえて『積極的な井の中の蛙』になる」です。「井草地域にこだわって地域を盛り上げたい」と鈴木さん。

ボーカル担当でバンドの最年長者、植松威博さん(60)は「自分たちの演奏を地域の人々が喜んでくれるのが一番うれしい」と話します。昨年11月の結成10周年記念ライブはちょうど100回目の出演。「地域に支えられて進化しています」と感謝の気持ちを忘れません。「将来の夢は？」との問いに、植松さんと鈴木さんは「SIPPSの第2世代、第3世代ができるといいですね」と口をそろえました。

### フォークや南米アンデスのバンドも

SIPPSと同様、地域密着型のおやじバンドを2つ紹介します。アメリカンフォークの「エバー・グリーン」と南米アンデス音楽の「ロス・ボラーチョス」です。エバー・グリーンは学生時代のフォークソングクラブに所属したメンバーが、卒業後35年目の2007年9月に活動を再開した6人編成のベテラングループです。数々のコンサートをこなしながら区内のゆうゆう館、ふれあいの家、区民センターなどで高齢者らに懐かしいフォークソングを届けています。メンバーの小林克司さん(67)は「アメリカンフォークがベースですが、ジャンルにこだわらず多種多様な楽器を使って何が飛び出すかわからない『フォークのおもちゃ箱』を目指しています」と話します。

ロス・ボラーチョスは杉並区社会教育センターのケーナ教室からスタートしたグループで、1998年の結成。こちらもゆうゆう館や商店街などのイベントでケーナ(笛)やチャランゴ(弦楽器)、ボンボ(太鼓)など珍しい民族楽器を使いながら楽しい演奏を披露しています。荻窪音楽祭では荻窪駅前広場の常連になりました。メンバーは「平均年齢が70歳になるまで頑張る」と気を吐いています。



本天沼区民集会所まつりで演奏するSIPPS



ボーカルの植松さん(左)と鈴木さん



エバー・グリーン



ロス・ボラーチョス

### information

- ◆シップス  
<http://www.h4.dion.ne.jp/~suzukike/oyajiband.html>
- ◆エバー・グリーン  
<https://www.facebook.com/Folksong.Evergreen>
- ◆ロス・ボラーチョス  
[http://www.geocities.jp/hola\\_borrachos](http://www.geocities.jp/hola_borrachos)

## ゆう杉並

### 中・高生の音楽拠点

「ゆう杉並」(区立児童青少年センター)は全国でも珍しい中・高生のための活動拠点。ここでは中・高生が音楽活動を通じて地域貢献したり、グループ間交流が行われたりしています。

オフィシャル・ボーカルチームと呼ばれる合唱グループは、区内のゆうゆう館や阿佐谷ジャズストリートで日頃の練習の成果を披露しています。歌好きの生徒が多く、「プロのボイストレーナーから指導を受けているので、聞き応えがあります」と事業担当の林謙次さん。年数回のゆうゆう館での出張コンサートは好評で、林さんは「生徒たちの励みになっています」と話します。

ゆう杉並は実は中・高校生の軽音楽バンドの拠点でもあります。杉並、荻窪、豊多摩など区内の高校が自主企画でライブを開催し、そこに集うバンド仲間の交流が生まれています。交流がきっかけで新しいバンドが結成されたケースもあります。

「杉並は元々、高円寺などを中心にロックミュージシャンが多い街です。将来、野外でロックフェスができれば…」(林さん)と構想を温めているとか。

### information

- ◆ホームページ  
<http://suginami-youth.jp>



ボーカルチームの出張コンサート



バンドのライブ企画

## KIZUMBINHA キズンビーニャ

### 「心臓さえ動いていれば、リズムでつながれる」

富士見ヶ丘に本格的なドラムショップ&スクールがあります。代表は植木寛郎さん。ブラジル音楽に心酔しているという植木さんは、チームのリーダーを務める林秀樹さんと度々ブラジルを訪れ、本場のリズムを習得。日本にも広めようと、7年前、現地のチームからのれん分けを受けサンバチームを立ち上げました。

ブラジルでは、サンバを通して子どもが健やかに成長できるよう、日本で言う少年野球と似た感覚でサンバチームに入ります。「日本でもサンバという選択肢が広がれば」と植木さん。幼少時から多様な音楽に触れてほしいと願います。

商店街のお祭りで演奏したのがきっかけで、宮前春日神社、高円寺フェス、障害者施設などから次々と声がかかるように。昨年は96歳の方の民謡とサンバでコラボしました。

「富士見ヶ丘だからこそ、色々な人と繋がれた。ゆくゆくは、高円寺阿波おどりのように、富士見ヶ丘をサンバの街にしたい」と語る植木さん。メンバーは随時募集中、年齢性別不問、初心者も歓迎です。

### information

- ◆ホームページ  
<https://www.facebook.com/kizumbinha>



サンバの心臓を司る低音楽器スルド



ホームタウン富士見ヶ丘の夏祭りの様子

## さんぱちの会 チャリティーコンサート

### 人がつながり、笑顔に

「さんぱちの会」は区民合唱団「高井戸混声コーラス」(通称「高混」)が母体です。高混には合唱以外にフルートや二胡、朗読などをたしなむ趣味人もおり、「それなら皆でかくし芸大会を!」と思い付いたのが始まりでした。

世話人の八谷悦子さんによると、名前の由来は3月と8月開催だから。3月は東日本大震災の犠牲者を悼み、8月は平和を祈念します。「その時期にイベントを開くことで立ち止まって考えることが大きな目的の一つです」と八谷さん。

会場は浴風園内のデイサービス室。出演者は40~80代の20人以上で、浴風会に様々な形で関わっているボランティアが集まっています。「演奏やパフォーマンスを披露する喜びが生きがいになります。その感謝をお裾分けしたい」と、出演者の参加費500円はチャリティー寄附としています。

八谷さんは「人と人が繋がれ、輪が広がり、みんなが笑顔になれば。思いに賛同される方、コンサートに参加してください」と訴えています。

### information

- ◆メールアドレス  
[etsu-8088@ozzio.jp](mailto:etsu-8088@ozzio.jp) (八谷)



世話人の皆さん(右から2人め:八谷さん)



手話で♪手のひらを太陽に